

常任委員会 審査から

六常任委員会の審査の過程で特に議論となった点について、要旨を掲載します。

総務委員会

《国民健康保険費特別会計》

委員 平成20年度の後期高齢者医療保険制度創設に伴い、現行の国民健康保険医療制度への影響は。

市 七十五歳以上の後期高齢者が外れることにより、保険料の収納率は約3%下がると考えられる。現在、収納率の低下により国の補助金の9%、約二億六千万円が削減されているが、さらに収納率が下れば、補助金が今以上に削減されることも予測される。

委員 国の税制改正に伴い保険料が高騰し、支払いが困難な高齢者への救済措置が必要である。委員会の総意として、税制改正により保険料の軽減が受けられなくなった高齢者に対し、市独自の減免措置を継続的に講ずるよう要望する。

保健福祉委員会

《仮称》「心豊かな岡山っ子」 応援団負担金》

委員 応援団の具体的な構成は。

市 早急に設立準備をし、整次第、本委員会に報告する。現在同様の取り組みを行っている団体をはじめ、民間事業者にも働きかける。

委員 この事業への決意を。
市 親子の愛着を深める一番最初で大事な時期に、絵本を通じた支援により社会全体で子どもを見守り育てるため、応援団という形で推進したい。

環境消防水道委員会

《合併処理浄化槽設置促進費》

委員 公共下水道認可区域に決定しながら、長期にわたって供用開始がなされない状況がある中、決定後七年以内に同区域で設置された合併処理浄化槽に補助金が交付されないのは問題だ。

市 国庫補助、県費補助が入っている以上、そういった規定の中で運用している。
委員 合併処理浄化槽は、財政面、環境面で有利であり、

経済委員会

《樋門改良等の農業用施設改良事業》

委員 改良要望に対する事業の実施状況は。また、緊急度などによる支所間の調整は。

市 樋門改良等の要望は多く、現地の状況や地元関係者との協議により順位付けをし、事業を実施している。優先順位は基本的には各支所で決定し、その意向を最大限に反映しているが、全体的な状況を把握する中、農業施設課で実施時期の調整を行うことはある。

建設委員会

《ポンプ場施設整備事業費》

委員 現在行われている護岸改修と併せ、今回の田中地区へのポンプ場建設で、笹ヶ瀬川の治水対策は十分か。

市 以前から内水排除のためポンプ場を増設してきたが、水が堤防を越える恐れからポンプを停止することもあった。
委員 対策を河川への排水に頼るのは関係部局との開発前協議が十分でなかったため

市 事前に協議はしているが、被害を最小にする方法を計画段階で協議すべく努めたい。

文教委員会

《岡山後楽館中・高等学校新校舎の配置計画案を見直すための概略設計委託料》

委員 関係者の意思を十分に聞くことなく、最初の概略設計を行い、結局は再度新たな予算を上げている。今後はこういうことが起こらないようにしてほしい。

市 関係者から多くの要望があったため、限られた敷地を一体的に考え、新たに策定するものだ。関係者への説明により理解を得ていきたい。



整備予定地 (旧南方小学校跡地及び周辺)

在職議員表彰

全国市議会議長会及び中国市議会議長会から、次の方々が表彰を受けました。

- 全国市議会議長会
 - 議員在職二十年以上表彰
崎本 敏子 土肥 啓利 宮武 博
 - 議員在職十五年以上表彰
佐々木清巳
- 中国市議会議長会
 - 正副議長在職十年以上表彰
花岡 薫
 - 議員在職二十一年以上表彰
花岡 薫
 - 議員在職二十一年以上表彰
宮川 日吉
 - 議員在職二十四年以上表彰
有井 靖和 垣下 文正 楠木 忠司 田畑 賢司
 - 議員在職二十一年以上表彰
崎本 敏子 土肥 啓利 宮武 博
 - 議員在職十六年以上表彰
則武伸一郎 羽場頼二郎
 - 議員在職十二年以上表彰
柴田 健二 藤沢 和弥 伏見源十郎 三木 亮治 吉本 喜一 若井 達子
 - 議員在職八年以上表彰
磯谷 和行 浦上 雅彦 下市香乃美 鷹取 清彦 田口 裕士 竹永 光恵 田原 清正 成本 俊一 三宅 員義 安井 聡 和氣 健 (敬称略)